

2017年10月

松山理事長が OECD ハイレベル会合に参加しました

OECD は、観光振興を通じた経済発展のための政策立案支援等を目的として、1961 年に観光委員会を設立しており、2017 年の 10 月会合が第 100 回目となることから、同会合の際に各国政務レベル、産業界への代表の参加を呼びかけるハイレベル会合を開催しました。

10 月 2 日から 3 日に開催されたこのハイレベル会合において、松山理事長は「政府一丸となった観光へのアプローチの促進」についての議論でメインスピーカーを務めました。松山理事長からは、日本においても今後のインバウンドツーリズムの成長に向けて官民一体となった取り組みは必要不可欠であること、観光産業における主役は民間事業者であり、民間事業者の利益を生み出す積極的な参画なしには、観光の持続可能な発展は実現し得ないと発言し、会合に参加した各国参加者からも同様の意見があげられました。

また、JNTO は本ハイレベル会合のオフィシャルランチをホストしました。参加者は、日本食や日本酒を楽しみながら、ビデオやパンフレット等で日本の美しい風景に触れ、日本への関心を深めていただく貴重な機会となりました。



ハイレベル会合



オフィシャルランチ